

株式会社ミットヨは、全社目標として『CO2排出量を2030年度までに2018年度比で50%削減』を掲げ、再生エネルギーの活用や省エネ活動に取り組んでいます。

また、**世界一競争力のある“Made in Japan”のモノ作り**を具現化し、昨今の精密測定機器の需要増加に対応する為、全工場で積極的な設備投資を進めていますが、再生エネルギーの活用と省エネかつ生産効率の高い設備を導入することで、全社としての炭素生産性を2024年度に2021年度比で92%以上の向上を図ります。

<事業適応の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

開始時期：2022年9月、終了時期：2024年3月

2. 生産性向上目標

2024年までに炭素生産性を92%以上向上する事を目標とします。

3. 前向きな取組の内容

- ・ 清原工場、MC工場、測器工場、高知工場の4拠点で電力を再生可能エネルギーに切り替えることで炭素生産性の向上を図ります。
- ・ 全工場で生産能力の増強や設備の老朽化更新投資を積極的に進めていますが、最新鋭の高効率な設備を導入することで、炭素生産性の向上を図ります。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<高知新工場> 再生可能エネルギーを活用



<清原工場増築建屋> 再生可能エネルギーを活用

